



天文資料

2024年 11月号

令和6年度 第8号 (11月号)

令和6年10月26日

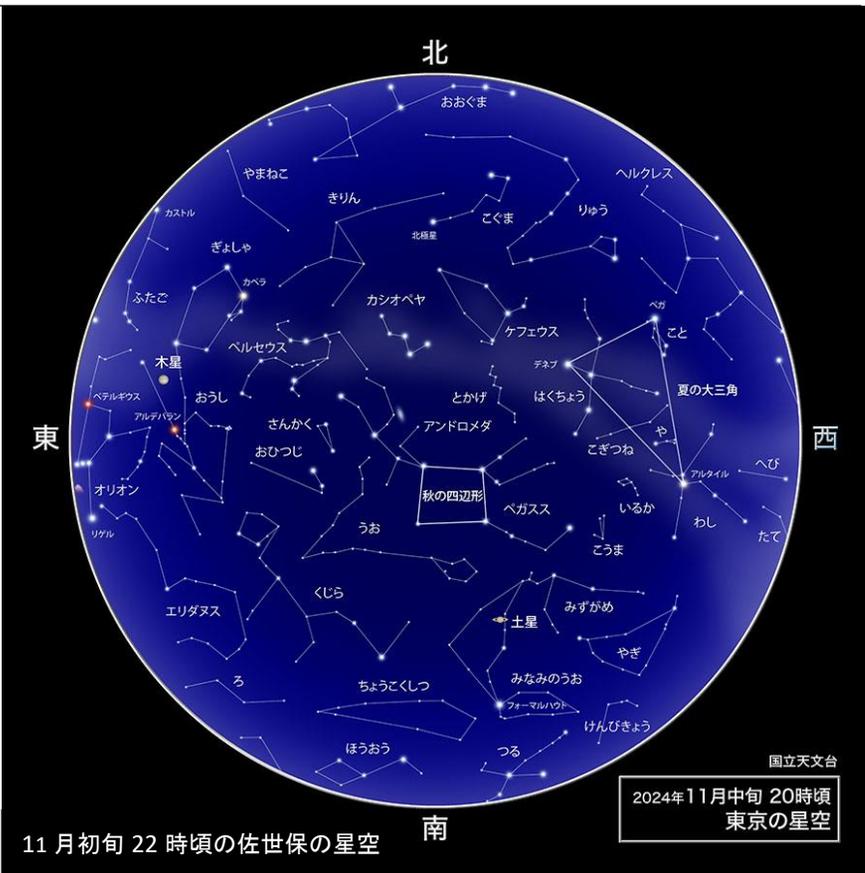
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<惑星に注目>

11月に入ると、日の入りの時刻も早くなり夜の長さが感じられるようになります。日の入り直後の南西の空には金星が輝き、月末に向かって徐々に高度が高くなっていきます。金星が沈んだ後の宵の南の空には土星、そして東の空に木星が昇ってきます。さらに木星が空高くなる真夜中頃には、東の空に火星も見えてきます。今月は、間隔を空けて夜空を彩る惑星たちの元を、月が満ち欠けしつつ訪れて行く様子に注目してみましょう。



- 1日 新月
- 3日 文化の日

- 5日 おうし座南流星群が極大
- 7日 立冬
- 9日 上弦
- 12日 おうし座北流星群が極大

- 16日 満月/土星が留/水星が東方最大離角
- 17日 天王星が衝/しし座流星群が極大(21時頃)
- 22日 小雪(太陽黄経240度)
- 23日 勤労感謝の日/下弦
- 26日 水星が留

☆天体観望会のお知らせ☆

- ★11月9日(土)18:00～ (10/26(土)から受付開始) <月・土星・夏と秋の星座>
- ★12月7日(土)18:00～ (11/22(金)から受付開始) <土星・木星・秋と冬の星座>

電話予約制(23-1517) 定員50名程度

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

※観覧料:小中学生150円、高校生以上320円